

三田市の地域公共交通の崩壊を食い止めるための緊急アピール

三田市地域公共交通活性化協議会は、交通弱者をはじめ市民の移動を公共交通で確保して市内外の移動の自由度を高め、活発な交流に基づくまちの活性化を目的として、三田市の望ましい公共交通体系を実現するため、平成31年3月には「三田市地域公共交通網形成計画」を策定し、住み続けたいまちの実現にむけ、学生、高齢者等の通学、通院の移動手段の確保はもとより、広く住民や来訪者に公共交通を使っていただけるよう様々な取組みを推進しているところです。

こうした中、今般の新型コロナウイルス感染症の影響は公共交通にも非常に大きなダメージを与えています。鉄道・バス・タクシーも最大で対前年比8割の利用者の減少がみられ、今なお元通りには回復していません。このまま減少が長期に及ぶと、地域の移動を支えていただいている交通事業者の事業継続も危ぶまれる状況であり、そうなれば住民の生活にも大きな影響が生じます。

各公共交通機関では、感染を防ぐための換気や消毒等、様々な取組を行っていただいています。当協議会としても、こうした公共交通機関の現状を住民の皆さまに知っていただく等、地域の公共交通を守り利用促進に向けて必要な取組を実施してまいります。

地域の皆さまには、日常生活を支える重要なインフラでもある公共交通の大切さを今一度ご理解いただき、感染防止にもご協力いただきながら、以前と変わらず安心して鉄道、バス、タクシー等の公共交通をご利用いただきますようお願いいたします。

また、国土交通省、兵庫県及び三田市におかれましては、こうした地域の窮状をご理解いただき、持続可能な公共交通の維持確保のために必要なさらなる支援を実施していただきたく、緊急アピールを行います。

令和2年8月5日

三田市地域公共交通活性化協議会

会長 土井 勉

